

平成26年度 杉森中学校 第8回学校運営協議会 会議録

日時 平成 27 年 2 月 17 日(火)17 時 00 分～ 19 時 10 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
《学校評価委員》 大川 洋
安藤 雄太
大熊 康子
由井 宮太郎
向笠 佐奈江
大橋 亮介 (校長)



《杉森中学校事務局》
工藤 康男(副校長)
シェティーベ`リング`育子(教務主幹)
加藤 雄一(進路指導主幹)
山口 優(生活指導主幹)
長谷川 祐子(嘱託事務)

《杉森中学校 PTA》
《学校評価委員》
副会長 藤森 裕美子

副 校 長 それでは始めましょう。

会 校 長 先月の研究発表授業は、お疲れ様でした。先生方の日ごろのご指導や研究を
拝見することができました。

校 長 1月21日から24日まで、2年生のスキー教室でした。スキー教室は2年生
の集大成です。これがうまくいけば3年生につながっていく。多くの先輩たち
がそうだったように、今年の2年生のスキー教室も素晴らしいものでした。

1月29日の研究発表授業は、区外・区内からたくさんの方に参加していただ
きました。140名の参加でした。

PTAの方には本当にお世話になりました。研究のほうは2年で終了になり
ますが、これで終わりというのではなく、これからにも生かしていきたいと思
います。

2月14日に行われた"新入生説明会"では、110名を超える参加者がありまし
た。来年度も1学年は3学級でTT対応などを考えています。

副 校 長 インフルエンザに関しましては、12月に2年生2学級と1年生1学級が学
級閉鎖になりましたが、今年に入ってから落ち着いたようです。

2月24日に都立一般入試があります。3月が近づいて卒業式に向けての準
備が始まります。

本日シュティーベリングと共に教育委員会に、教育課程の報告をしに行ってき
ました。大きく変更することはありません。



新入生説明会説明会で多くの保護者がきてくださいました。来年度の新入生は
転勤して杉並区に来る方もいらっしゃるので、人数については確認中です。

司 会 では教務から報告をお願いします。

教 務 主 任 研究発表会では、職員、事務や用務のみなさん、そして杉森中のPTAの皆
さんのご協力が無事に修了いたしました。ありがとうございました。研究授業
のアンケートを学年ごとにまとめて、これからに役立てたいと思っています。

教 務 主 任 平成 27 年度教育課程について(第 1 案)をご覧ください。学校長の経営方針を変えたものは、下線になっています。年間行事予定について、学年ごとの授業数、学校行事、土曜日授業実施計画などが入っております。

学校内部評価をご覧ください。皆さんからいただいたご意見を反映させて来年度の運営に役立てたいと思います。

これから卒業式を迎えるに当たり、3 月の行事が進んでいきます。3 月の 2 日に都立の合格発表があります。3 年生は 3 月 20 日に卒業しますが、1・2 年生は 25 日に修了式となります。

生活指導主任 特に大きなことはありません。先ほど校長から 2 年生のスキー教室で非常に素晴らしい進歩をとげたとの話しもでしたが、他の学年も非常に落ち着いています。2 月 6 日、1 年生はトラブルもなく都内巡りの校外学習を終えました。



進路指導主任 進路指導部の取り組みですが、総合的な学習の時間として 1 年生は、「自分たちの故郷を知る」ということで都内巡りをし、上野・浅草方面などに行きました。浅草寺で集合写真をとる班も多かったようです。調べ学習をもとにじゃばらレポートを作りました。2 階に掲示してありますのでお時間がある時にご覧ください。

2 年生は望ましい職業観を身に付けるといことで「どんな進路があるか、どんな上級学校があるのか？」春休みに 3 人一組のグループで上級学校訪問をします。

3 学年は受験真っ只中です。進路関係では、今現在進路が決まっているのは、43 名です。その内訳として、1 月にありました私立の推薦に合格したものが 19 名。2 月 2 日に都立推薦合格者 10 名。私立の一般入試 14 名が確定。

まだ進路が決まっていない生徒は 2 月 24 日の都立一般受験にチャレンジします。併願で私立を抑えている生徒がいますので、都立の合格状況によっては私立に進学する数が増えるかもしれません。全力で頑張ってもらいます。

司 会 質問はありますか？

A 委 員 教育課程の年間計画に、職場体験実習という言葉が出てきますが、実習という言葉は他には出てきませんよね。

副 校 長 そうですね。学習に統一します。

会 長 土曜日の体育祭や合唱のカウントは？

校 長 来年度は振り替えない土曜日授業が増えています。体育祭・合唱コンは行事になります。今年で言うと、田畑先生の授業は総合的学習の時間になります。授業公開はまた別です。

A 委 員 道徳全体計画に「主体的に行動できない面がある」というのがありますが、どういことでしょうか。

進路指導主任 先生にいわれたからやるというのではなく、自分たちが行動できる子供に育みたい。ということです。

A 委 員 「～をさせる～をやらせる」という言葉よりも「～する」という言葉を使ったほうがいいかもしれませんね。

校 長 有難うございます。精査します。

会 長 CS だよりを作成しているところです。土曜日の英語授業でお世話になった田畑先生の座談会をまとめることになっています。長い座談会だったので、これを集約していきたいと思います。向笠さんや岡田さんの話も面白かったので、載せたいですね。



欠かせない話ばかりです。6回の田畑先生の授業の内容も載せたい。できるだけたくさん載せたいのですが、誌面が限られているので一野さんと今年度中に間に合うように、作っていきたくと思っています。座談会に出席された方にはメールで送りますので、ご確認いただければと思います。

会 長 次年度のCS委員についてですが、今年度で任期が修了される方がいるので、新しい委員の方を探しています。同じような世代ばかりにならないようにしたいのですが…。PTA 活動経験者で学校に関心のある方がいらしたらぜひ推薦していただきたい。

以前はイベントをやっている方など、地域のつながりがある方をご紹介いただいていたね。ボランティア活動に力を入れている学校なのでぜひそういった方がいらっしゃれば、ご紹介ください。

学校支援本部についても同じです。よろしくお願いいたします。

校 長 地域性をだすのが難しいですね。評議委員だと町会長さんが引き受けてくれたりしますが…。

司 会 JC などの協力を得るのはどうでしょう？

B 委 員 JC とは？

司 会 Junior Chamber(青年会議所)のことです。40 歳以下の若手経営者の集まりです。区市町村レベルで自分の仕事以外の社会貢献をする団体です。

C 委 員 若くして起業した人が多い。社長の二代目という人が多いですね。若手でも一生懸命会社をやっている人が多い。団体として教育など社会に役立つことをやろうというものです。杉並…阿佐ヶ谷にあるといいのですが。

司 会 杉並にあったでしょうか…?お祭などに協力してもらっていますね。

D 委 員 そう、わんぱく相撲に JC がかわっていますね。

司 会 JC の OB がやってくださるといいですね。探してみましょう。

校 長 支援本部はどの学校も過渡期のようにです。町会長さんを中心に入っただけなのですが、なかなか続かない。地域の方がはいってくださるといいのですが…。

会 長 それでは学校評価委員会を始めましょう。

副 校 長 お手元の資料をご覧ください。食育については、家庭と連携を取りながらやっていきたい。検定では支援本部の協力もあり次年度も継続していきたい。土日の補充教室は職員をいれて学習を促していきたい。家庭学習率が低い。習慣がついていない。これはノートやワークで宿題を出すなど、何とか改善していきたいと思っています。

月に一度校内委員会がありますが、外部機関との連携を図るように、済美教育センターなど専門的な知識を校内に持ち込むようにしたいと思っています。

職場体験授業では、事前学習が大切です。勤労感を高めていきたい。杉森中は地域法人とのボランティア活動の数かとても多い。これを大切にして継続させたい。自主性・実践力をたかめたい。

- 副 校 長 ホームページのアクセス数を反映させられるよう、IT 支援員を活用して操作を健闘したいと思っています。
- 学校便りによる情報の充実、小中一貫教育の系統性・連動性を進めていきたい。また支援本部・PTA との連携を深めて学校経営をしたい。来年度に向けて考えていきたいと思っています。
- 校 長 ALT を土曜日授業に生かせないかと、今検討中です。地域の方で英語を教えてくれるという方もいるのですが、外国の方をお願いしたい。
- D 委 員 アウトプットできる場が増えてほしいですね。
- 校 長 特色ある教育のプレゼンで教育長が、英語しか話せない部屋があると面白いと話してくれました。実現可能なら ALT を活用するのもいいですねね。
- 副 校 長 学習指導では、教育実習生が都内巡りの介助員を引き受けてくれました。教育実習生を活用していくというのも大切な人材の確保になりますね。
- B 委 員 母校の土曜日学校などで教える機会があれば、嬉しいと思います。
- 司 会 大学生も忙しいですからね。補習授業や土曜日授業の日程をまとめていただけたらいいですね。大学生にも頼みやすいです。求人票みたいなものがあるといいのですが…。
- A 委 員 必要があれば大学生をご紹介します。
- 司 会 家庭学習率が低いというのは…?
- C 委 員 私は杉一小の朝先生をしているのですが、小学校の宿題の量がすごく多いと思います。中学生になると宿題が少ないのでは?
- 校 長 部活で時間がないということもありますね。
- E 委 員 家庭学習をするように子どもに伝えてもやらない…。どういう学習が家庭学習なのかと子どもに聞かれてしまいます。
- C 委 員 予習・復習のことなのか…。宿題だけでいいのか…。書き取りや計算問題もいいですが、調べてこよう!という授業はないのですか。授業時間に完結しているのか…。
- 副 校 長 授業時間に完結するのが基本ですが、終わらない生徒もいますね。
- 会 長 小中連携で、宿題の出し方など話し合ってみてください。



- C 委 員 家庭学習の週間をつけることが目的なのか、やった授業の予習復習が目的なのか。
- 校 長 補習を 16 時から 45 分やってもらっています。部活が終わってからも出られる時間なのですが、徐々に参加しなくなってしまいます。授業で完結すべきことをもう一度家で確認してほしいのです。
- C 委 員 もっと宿題をだせばいいということなののでしょうか。自分で調べることの楽しさの習慣がつけば家庭学習の意味にもつながるのでしょうか…。言うは易く…ですよね。授業の中でなかなかできないことを家庭で身に付けさせたい。ということですね。
- 校 長 と、いうより学習を定着させたいということです。
- B 委 員 小学校では宿題で基礎が定着しているが、宿題のわからない所を補充教室でやってもらえればよいのではないですか。部活の先生も協力してもらえればよいのでは？
- 校 長 同じプリントを繰り返しやっても、来なくなってしまう生徒もいます。強制してやらせることができないので、部活の方を優先してしまうのです。
- 会 長 「いのちの教育習慣というのとは？」
- 校 長 外部講師の方にはいのちとかかわりのある職業の方に来ていただければと思っています。
- E 委 員 土曜日授業でお年寄りとどう付き合っていくかなど福祉に関するものが入っていくといいかもしれませんね。また、小さい子との付き合い方も連携が取れたらいいですね。施設やデイサービスも杉並にたくさんあるので、そういう活動ができたらいいいと思います。
- 会 長 道徳・総合でやっていけたらいいのかもしれませんが。人権教育プログラムもあるので、お年寄りや子どもとかかわっていく事があればいいですね。



A 委 員 全体的に見ていると、学校が楽しそうに見えないですね。もっと意図的に例えば書評なども外部に向けて発表できるような場をつくればよいのでは？

職場体験についてもそうです。全体にプレゼンテーションする機会をつくるとか…。ESS や「めざせコスモポリタン」も同じ様に…。生徒が意欲的にプレゼンテーションできるように学習活動を増やしてみても生徒が楽しんでできるようなものがほしいですね。

D 委 員 色々な人がかかわって子どもたちが活発に活動できれば良いですね。色々な面で活躍できたら…。ボランティア活動もしているので、そういう所が学校でも見られたらいいですね。

E 委 員 「杉森の子はまじめで良い子」という評判ですが、羽目をはずしたり、発散できるような事もあればよいのでは？

杉森中の昔からの「評判どおりの子ども」という殻にとじこめられているのではないかと思うのですが…。

校 長 我慢ができる、というのも大事なことです。たまには羽目をはずしてもいいのです。

E 委 員 もう少し元気な子どもたちを見られるのもいいのではないかと思います。

会 長 行事などにうまい"キーワード"作りをしていけたら良いですね。では今回は以上です。